

所属・氏名（保健医療学部 医療技術学科 氏名：藤本 浩章）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) Sub-MIC β-ラクタム剤処理 がMRSAにおよぼす影響に関 する研究	単著	2009年3月	広島大学大学院医 歯薬学総合研究科 (修士論文)	論文全体の概要:MRSAがSub-MIC β-ラクタム 剤に暴露されることで、溶血毒素やロイコシジン などの分泌型病原因子の発現や細胞への付着 能が亢進することが明らかとなった。このことは、 sub-MIC 濃度 β-ラクタム剤存在下で、MRSA が 通常より強い病原性を発揮することで生体防御 機構に抵抗し、宿主への感染を容易に成立させ る一因になる可能性が示唆された。 (当該論文のページ数:42 頁) (当該論文著者名:藤本浩章)
2 (学術論文) Identification and Antimicrobial Drug Susceptibility of Clinical <i>Staphylococcus</i> spp. Isolates from Canine Superficial Pyoderma at a Primary Veterinary Hospital	共著	2011年10月	JJVD: 獣医臨床皮膚科 17(2):99-104, 2011	論文全体の概要:一次診療動物病院にて表在 性膿皮症罹患犬から <i>Staphylococcus</i> 属菌を分離 した。分離株20株中19株は <i>S.pseudintermedius</i> 、1株は <i>S.schleiferi</i> であった。3株は <i>mecA</i> 遺伝 子を保有し、SCC <i>mec</i> タイピングは全てタイプV であった。 <i>mecA</i> 陽性 <i>S.pseudintermedius</i> はβラ クタム系以外の種々の薬剤に対して多剤耐性を 示した。以上の結果は、一次診療動物病院でも 犬の膿皮症原因菌として <i>mecA</i> 陽性 <i>S.pseudintermedius</i> が関与する可能性を強く示 唆する。 (当該論文のページ数:6 頁) (当該論文の著者名:山本真紀子、藤本浩章、 清水亘、加藤文紀、久恒順三、伊藤雄介、南毅 生、菅井基行) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能